

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域的话题をお届けしています。
広報広聴課 ☎55 - 2700へご連絡ください。



国際バイオリンコンクールで
3位に入賞した、富士市出身の
バイオリン奏者

中村真紀子さん

言 土市出身のバイオリン奏者の
中村真紀子さんが、ことし五
月にイタリアのフェルモで行われ
た第十回アンドレア・ボスタツキ
―二国際バイオリンコンクールで
見事第三位に入賞しました。

中村さんは、広見小、岳陽中学
校を卒業後、東京芸術大学付属音
楽高校を経て、同大学音楽学部器
楽科へ進学。卒業後、ウィーン国
立音楽大学に留学し、この十月で
四年目に入ります。これまでに全
日本学生音楽コンクールで入賞す
るなど、数々のコンクールで優秀
な成績をおさめてきましたが、国
際大会での入賞は今回が初めてに
なります。

留学先の教授に勧められ参加し
た今回のコンクールでは、心地よ
く好きな曲の一つ」というメンデ
ルソーンの協奏曲を演奏。中村
さんは、「二次予選では集中できず、
演奏後は落ち込みましたが、本選
にはその分集中力を高めて臨みま
した。本選は納得のいく演奏がで



き、満足感でいっぱいでした。奏
者も審査員も国際色豊かな中で、
自分の演奏を評価してもらえたこ
とがうれしく、励みになります」と
振り返ります。

音楽の都・ウィーンでの暮らし
は、「音楽的な刺激に満ちている一
方で、静かで落ち着いた街です。
そのためバランスのとれた充実し
た時間を過ごしています」と話し、
今後の目標は、「聞いてくれる人が
『温かくリラックスできる』と感じ
てもらえるような演奏ができる音
楽家に」と明るいまなざしで語っ
てくれました。



9月初めに一時帰国し、ロゼ
シアターで開かれた受賞記念
コンサートで、素晴らしい演
奏を披露してくれました



「わたしの主張2003」静岡県大会で、
高橋由美香さん(岩松中一年)が県知事賞に



見事、最優秀賞の県知事賞
に輝いた高橋由美香さん

八月二十日に掛川市で開催され
た「わたしの主張2003」静岡
県大会(県教育委員会など主催)
中学生が学校や家庭など日常生活
の中での思いを発表するこの大会
で、岩松中学校一年生の高橋由美
香さん(松岡)が最優秀賞の県知
事賞を見事受賞しました。県全体
では一万九千八百四十人の応募が
あり、東部、中部、西部地区大会
で優秀賞を受けた十二人が県大会
に出場。この中では唯一の一年生
の高橋さんは七番目に登壇し、「幸
せ」という題で発表を行いました。

高橋さんは、幼くして両親を亡
くしながらも、祖父母など支えて
くれる人たちの愛情に包まれて育
った境遇や感謝の気持ちを率直に
表現。その上で、「幸せ、不幸せは、
人の心のあり方で違ってくる」、「
私の命を精いっぱい生き、今の自
分の幸せを、これからの皆への幸
せに少しでも役立てられる生き方
をしたい」と、「幸せ」に対する自
分の気持ちを伝え、観客からひと
きり大きな拍手が寄せられました。
高橋さんは、先生に勧められて
参加を決心したものの、初めは自
分を見つめて書くことや発表する
ことにためらいがありました。で
も、書くことで自分を振り返り、
新しい発見をするうちに、前向き
に心が変化していき、次第に練習
にも熱が入りました。参加を通じ
て得られた多くの人との出会いは、
私の一生の宝物。受賞して、伝え
たかったことをわかってもらえた
ことがとてもうれしかったです。
夏休みも練習につき合ってくれた
友達や先輩、先生に感謝していま
す」と話してくれました。
高橋さんの発表は今後、関東甲
信越静岡県ロックのテープ審査へ。
同ブロックでは三人が十一月の全
国大会への出場権を手にします。